

【担当教員名】 石田寛友	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

<概要>

整形外科学は解剖学を基礎知識として、運動器（骨・関節系及び筋・靱帯系）とそれらに指示を出す神経系について総合的な見地から治療する学問で、人間全体としての機能再建を目的としている。講義では総論として、これら三系統の構造及び機能について述べ、それらの形成不全あるいは疾患・外傷による機能障害の治療法あるいは予防法について概説する。

<学習目標>

1. 骨・関節・筋・靱帯・神経系の構造と機能をきちんと把握し、要点を整理・学習する。
2. 整形外科的疾患について把握し、その治療法および予防法の要点を整理し、将来の目標に応用できるように学習する。

回数	授業計画又は学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	整形外科学とは	臨床医学の分野で閉める位置、他科との連帯		講義
2	整形外科学的基礎知識	(1) 骨の発生、成長、加齢的变化 (2) 関節の基礎構造 (3) 骨格筋の基本構造と機能		講義
3	運動器の検査法及び評価	(4) 神経系の基本構造と機能 (5) 骨・関節・筋・神経の病態整理 問診、視診、触診、可動域測定筋力テスト、γ線、CT, MRI, エコー、赤外線サーモ		講義
4	整形外科的治療法	保存療法、手術療法、術後療法、義肢・装具		講義
5	疾患総論	1. 感染症、リウマチとその類似疾患、慢性関節疾患		講義
6		2. 四肢循環障害と阻血性壊、先天異常と骨系統疾患		講義
7		3. 代謝性骨疾患、骨・軟部組織腫瘍、神経・筋疾患		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	標準 整形外科学 第7版	寺山修一・辻陽雄	医学書院	9000円
参考書	標準理学・作業療法学 整形外科学	奈良勲	医学書院	
その他の資料				

【評価方法】

【履修上の留意点】